

まち活 8 つうしん

ねほま5づくりセンター

取材 / 2009年11月19日

——子どもたちの遊び場、児童館に見知らぬ人たちがやってきた。ご安心あれ、決してアヤシイものではありません。彼らは『児童館の新住民』。アーティスト・北澤潤氏の作品なのです。子どもたちの集まる児童館は、何気ない日常であっても、実は事件やドラマ、発見の宝庫だった！新住民という新たな視点から見た子どもたちの日常、子どもたちから見た新住民という存在。今日も児童館では何かが起きている!?

児童館からアートと人とまちをつなぐ

日常から新発見

東大泉児童館の扉を開けると、にぎやかな声や音。友だち同士で手を取り合って遊ぶ子、ひとり自分の世界で遊ぶ子、児童館職員さんと遊ぶ子…それぞれが思い思いに過ごしているこの児童館が、子どもたちにとって他愛ない日常の場所です。「アーティスト・イ

ン・児童館」の活動は、そこにアートという風を吹き込み、アーティストと子どもたちが交流することで、当たり前になっていた日常の感覚を揺り動かし、新しい感覚を呼び起こします。いつもと変わらない日々のなかに、まだまだ新しい発見が隠れています。アートとは「ものづくり」だけでなく、「新しいものの見方」でもあるのです。



『児童館の新住民史』

第二回招待作家・北澤潤氏のプロジェクトでは、『児童館の新住民』という人々が児童館に入り込み、子どもたちの行動を新鮮な目で見つめ、「手記」に記していきます。子どもたちの日常は「手記」として書かれることで、小さな事件となり、ドラマとなって、日常ではなくなっていきます。そのなかで『新住民』たちは新たな気づきや発見をしていくようです。

子どもたちにとっては、『手記』を書く」という行為が興味の対象になっている様子。『新住民』が「手記」を書いているのを見て「自分も書きたい!」と、ペンを取り書き出す。そして、子どもたちの「手記」と自分たちの「手記」がごちゃ混ぜになってきていることも、『新住民』たちには嬉しいハプニングのようです。子どもたちが「手記」として自分たちの日常を書き



▲新住民のユニフォーム



▲新住民の「手記」



▶アーティストの活動を通して、子どもたちの怒喜こもごもの世界が見えてきた!



団体さん、今日を振り返る。
活動メンバー白井さんのお話

大人が本気で楽しんでいれば、周りにいる子どもたちも、勝手に楽しんでいきます。逆に大人が少しでもつまらないな、と感じていたら、子どもたちは離れていきます。ぼくらが目指すアートってなんだろう？遊びって？地域って？…今回、「新住民」たちは悩みの中で活動を作っています。でも、子どもたちは「悩んでないで遊ぼうよ！」と言うわけです。新住民たちのアートへの探求と、子どもたちの遊びへの欲求が合わさって、町の大人たちもびっくりするような“事件”は起きるでしょうか？乞うご期待！



新住民のまわりには、いつも子どもたちが

記すとき、どんな視線で世界を見て、
どんなことに気づくのでしょうか。

アートがつなぐもの

アーティスト・イン・児童館実行委員会は、アーティストの活動を通して児童館と、子どもたちと、まちをつなげていきます。アーティストは子どもたちから刺激を受けて作品をつくり、子どもたちはアートというまだ体験したことのない楽しみのなかで、知らず知らずまちと関わり合っていきます。そして、まちの人たちにとっても、普段なかなか知り得ない児童館での出来事、そこに集まる子どもたちの日常、考えや悩みを知ることで、子どもたちの世界に興味を持ってもらい、世代を超えてみんながつながっていきます。

アートによって人とまちがつながったとき、『アートって難しい』から『アートって面白い！』にきっと変わるはずです。



▲子どもの「手記」

活動団体基本データ

設立

2008年9月

活動テーマ

「まちと子どもが遊ぶ日常」を、アートを使って作り出すために、練馬区立東大泉児童館にアーティストを招待し、人員・資金・企画運営面で活動をサポートする。

活動実績

- ・招待作家・西尾美也氏と「西尾美也作品展」(2008.9)
- ・「ことばのかたち工房」を東大泉児童館にて開催(10月~)
- ・トークセッション「アーティスト・イン・児童館のこれから」を、武蔵野美術大学にて開催(2009)

ホームページ

<http://jidokan.net/>
団体連絡先
info@jidokan.net

団体拠点案内



活動場所

東大泉児童館
(東大泉7丁目20-1)

練馬まちづくりセンター

発行日 2010年3月8日
取材/編集 練馬まちづくりセンター
デザイン 濱祐斗 [BEACH]
発行元 (財)練馬区都市整備公社 練馬まちづくりセンター
練馬区豊玉北5-29-8 練馬センタービル3階
Tel 03-3993-5451 Fax 03-3993-9070
Email machi@nerimachi.jp Web http://nerimachi.jp

練馬まちづくりセンターは、練馬区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために、区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を実施する組織です。

これからの展望

アートを

手にとってもらおう

このプロジェクトでは、小冊子『児童館の新住民史』を発行しています。プロジェクトの内容や、児童館の様子をまちの人たちに発信し、つながるきっかけとなるものです。アートというと、遠い存在と思われるがちですが、気軽に手に取れる小冊子でアートの魅力や面白さを知ってもらうことで、活動をより身近に感じてもらえるのではないのでしょうか。

今後こんなグループとつながりたい!

中村小学校グリーンキーパーズ/白子川水辺の会/石神井・冒険遊びの会

活動メンバー紹介

白井 隆志 さん



アーティスト・イン・児童館実行委員会の代表として、団体の活動を支える一方で、地域の様々な活動にも積極的に参加しています。

北澤 潤 さん



北澤氏の作品は「ものづくり」ではなく、「意識を変える」アート。彼の頭の中にはどんなイメージが詰まっているのか、ちょっと覗いてみたいくなります。

他にもたくさんの方がいらっっしゃいます!
是非活動をのぞいてみてくださいね。

練馬まちづくりセンターは「まちづくり活動助成事業」で、アーティスト・イン・児童館 実行委員会を応援しています。

まちづくり活動助成事業とは、区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために取り組む、区民主体のまちづくり活動への支援を目的としています。



【はばたき部門】助成金額30万円以内
身近な生活空間の保全改善等のために取り組むまちづくり活動への助成



【テーマ部門】助成金額 | 年目10万円以内、2年目50万円以内
身近な場所で生き物と呼ぶ空間をみんなで楽しみながら創り出す活動への助成



【たまご部門】助成金額3万円以内(年中受付しています)
上記2つの部門の様なまちづくり活動を始める、きっかけづくりや学習会などを開催するための助成